

しどてん

仁淀川町
広報

11 2006年
月号 No.16



10月16日、高瀬で芋煮会が行われました

満

深

腹

秋

主な 内容

- 2~7.....秋特集
- 8.....イランから技術者ら来町
- 9.....県中央地区消防大会
- 11~13.....地域担当職員の役割
- 21.....クロスワードパズル
(解答方法が変わりました)



池川中学校 9月18日



吾川中学校 9月24日



仁淀中学校 9月24日



大崎小学校 10月2日

元気いっぱい！
運動会・体育祭

スポーツの秋を華やかに彩る運動会、体育祭が町内の保育所、幼稚園、小・中学校で行われました。さわやかな秋空の下、園児や児童・生徒たちは心地よい汗を流しながら、工夫を凝らした競技やダンスなどを披露。応援に駆けつけた家族などから盛んに声援が送られ、会場は熱気に包まれていました。

スポーツの秋



池川小学校 10月1日



名野川小学校 10月1日

秋特集（スポーツ）



長者小学校 10月4日



別府小学校 10月2日



名野川保育所 10月1日



池川幼稚園 10月1日



ふたば保育所 10月2日



大崎保育所 10月8日



池川保育園 10月14日



長者保育所 10月15日

池川地区運動会

10月15日、池川小学校グラウンドで第2回池川地区運動会が開催され、競技に参加した人も、応援の人も和気あいあい、楽しみながら汗を流しました。



力走!



気合が入った綱引き



もちまき



集中! 輪投げ

池川SSC県大会で大健闘!

第16回全日本少年フットサル大会 (高知県大会)

9月2・3日、県立野市青少年センターで行われた大会で、池川少年サッカークラブは、全国予選の部でベスト8に、フレンドリーの部で第2位と好成績を取めました。

全国予選の部 (参加28チーム)

- ・予選リーグ (1位通過)
- ・決勝トーナメント

準々決勝 池川SSC 1 - 8 十津三里

フレンドリーの部 (5年生以下、参加8チーム)

- ・予選リーグ (1位通過)
- ・決勝トーナメント

決勝 池川SSC 1 - 9 横浜U-11



※フットサル基本的には室内で行われる少人数サッカー!

☆当大会で、池川SSCの瀧本紘平コーチが大会最優秀審判員として、高知県サッカー協会から表彰されました。



ソフトボールで交流



九月二十三日、池山川村広場で五チームが参加して行われました。

昭和五十四年に旧三町村の青少年育成町(村)民会議が主催して始まった大会で、今年には町村が合併して仁淀川町青少年育成協議会になってから初めての大会となりました。

優勝 大崎ジュニア
準優勝 別府メッツ
第三位 中津ジュニア

星ヶ窪ハイキング

星ヶ窪から望む鳥形山



十月八日に長者地区・星ヶ窪キャンプ場で、青空の下、星ヶ窪ハイキングが行われました。
堀内佳さんのコンサート、一圓想の太鼓演奏、かずら細工教室、スポーツ少年団の出店などで賑わい、秋の一日を満喫しました。

行楽の秋



かずら細工教室



一圓想の和太鼓演奏

雑誌山モニターツアー

どうしやま
雑誌山（1,328m）周辺には、江戸時代、池川一揆で愛媛県側へ逃散した「予州高山通り」という古道が残り、また南麓には「カラ池」という雨期に水をたたえて出現する池もあります。

地域活性化グループ「池川応援団」では、この魅力いっぱいの地域を山歩きなどのコースとして活用しようと計画、団員以外のボランティアの協力も得て、古道の草刈りなどを行ってきましたが、今回10月7、8日の両日、一般の人の意見を聴くためモニターツアーを実施しました。

山歩きやツリークライミング（ロープを使った木登り）を楽しんだ参加者からは「景色が素晴らしかった」「山歩きの距離が長かった」など、今後の参考になる意見が聞かれました。



ツリークライミングを体験

楽しく盛り上がった月見



「池川遊遊会」恒例の交流会が、十月七日ツボイ地区一楽庵の庭で、町内外から六十人余りが参加して、盛大に行われました。
秋のきれいな空気を感ぜながら、「満月のウサギともちつき競争！」や「満月に向かって大声大会」、バーベキューなどで楽しい時間を過ごしていました。

山のお月見

文化の秋

秋葉神社秋季大祭



参拝客でにぎわう神社

十月十一日、秋葉神社秋季大祭で池川神楽が初めて奉納され、大勢の参拝客が厳かで神秘的な舞を楽しみました。

秋季大祭は、昭和三十年代には相撲大会が開かれるなど、盛大に行われていましたが、近年は人口減少などで神事を行うだけとなっています。

昨年の町村合併をきっかけに「秋葉まつり保存会」と、国の重要無形民俗文化財に指定されている「池川神楽保存会」との交流が始まり、かつての大祭のにぎわいを取り戻そうと、神楽の奉納が計画されました。神事に続き、神楽保存会のメンバー七人が太鼓やか

ねの音に合わせ「悪魔払」あまのいわとひらきまい「天磐土開舞」など六つの舞を約一時間にわたって奉納。参拝客から盛大な拍手が送られました。

また別枝地域の方々の出店もあり、普段は静かな山里もにぎやかな一日となりました。



池川神楽奉納



悪魔払



山主の舞

都の太鼓踊り

10月13日、都で伝統の「太鼓踊り」が奉納され、町内外から大勢の見物客が訪れました。

その昔、屋島の戦いに敗れた平家一門は、阿波の祖谷から土佐の山中に入り、旧仁淀村都へ落ち延びたと伝えられています。そのとき伝授されたのが「太鼓踊り」で、安徳天皇の御霊を案じ奉るために御陵塚前で円形になって唄と太鼓に合わせて優美な踊りを繰り広げます。

数百年前から絶えることなく続いている「太鼓踊り」は、別名「都踊り」ともいわれ、毎年旧暦8月22日に奉納されます。



優美な太鼓踊り

北国に伝承される池川神楽

池川神楽を伝承する「池川神楽北見保存会」が今年三月、北見市に発足しました。北見市民有志は、十年ほど前から市民のよりどころとなる伝統芸能を模索し、神事の一つである神楽を北見神社に奉納したいと、全国の神楽を研究していました。今年一月、北見市と姉妹都市である高知市に問い合わせたところ、池川神楽の存在を知らされたことがきっかけで、交流が始まりました。九月には北見市を訪れた「池川神楽保存会」。これまでの経緯などについて、保存会の方に報告していただきます。

それは、今年二月、町教育委員会からの一報で始まりました。その内容は「北海道北見市の方が、池川神楽を習得し伝承していきたいので、承諾いただければ高知に伺いたい」というものでした。

「池川神楽北見保存会」北海道北見市に発足



神楽の指導の様子（北見市）

秋特集（文化）

北見市は明治五年に始まり、同三十年には坂本龍馬の甥、坂本直寛らが主宰する移民百十二戸が北光社農場を開設、大正三年

一リングで有名な常呂町など、一市三町が合併して現在の北見市となっています。高

知市や佐川町とも姉妹都市であり、大変縁の深い市です。

池川神楽保存会も神戸、京都の神社での奉納や、山陰地方の神楽大会などに参加した経験はありますが、県外の方に神楽を指導し、まして当地で保存していくという申し出は初めてで戸惑いもありましたが、熱心さに押され、交流が始まりました。

四月一・二日に北見神社宮司など十四人が来町。神楽について、本来、神殿で神に奉納するものであること、国の重要無形民俗文化財指定であり、絶対に型を変えてはいけないことなどを念押しし、練習を始めました。

来町したメンバーは和太鼓

や舞踊の経験者が多く、こちらが、たじろぐほどの熱心さで、二日間の練習を終え北海道に帰っていききました。

その後、北見市の合併式典で舞を披露したビデオが届きましたが、多少のぎこちなさがあるものの、太鼓のリズムも一応、神楽太鼓になっており、堂々としたものでした。

九月には、こちらから六人の保存会員が北見市に赴き、二日間、体育館にこもりつきりて神楽の指導をするともに、北見神社大祭で我々保存会員による神楽を奉納することもできました。

当地では「池川神楽北見保存会を支える会」も市のそうそうたるメンバーで設立されたようで、今後の発展が楽しみとなってきました。

今回、温かく迎えていただいた北見市の方々に感謝するとともに、今後も池川神楽の正統を継承していくことをお誓いして今回の公演の報告といたします。

池川神楽保存会

池川文化祭展

10月15・16日、池川小学校体育館で、池川地区の小・中学生の作品や一般の方の写真や生け花など、数々の力作を集めた文化祭展が行われました。

15日は池川地区運動会でもあり、大勢の人が会場を訪れ、作品に見入っていました。



文化祭展会場